

個別事業費	2,206 千円
交付金額	735 千円

## 地域の実情と課題

令和2年度実施の市民意識・事業所実態調査の中で、「小平市女性相談室」の認知度を聞いたところ、11.2%と認知度が低い状況が見受けられた。また、相談経験の有無を聞いた設問では、42.2%の女性が「どこにも相談しなかった」と答えている。これにより困難を抱えた女性のための相談窓口が知られていない現状が読み取れる。小平市女性相談の相談実績からは、相談者は50代以上の女性が多く、特に若い世代(10～40代)の女性が相談につながりにくいこともわかっている。

## 事業の特徴

LINEを活用したSNS相談を、週二回、2か月間試行実施し、これまで悩みや困難をかかえつつも相談につながらなかった女性を支援する体制を整え、相談内容によっては適切な相談窓口につなぐ等の対応を行った。

## 事業の効果

小平市で実施している電話・面談での相談者の年代より、若い方からも相談があった。  
また、電話や面談での相談はハードルが高いと感じている方からも相談をうけることができた。

## 目的・目標

- ・女性相談SNS試行実施の相談件数(目標値35件)→36件
- ・「相談したことがある」女性の割合(目標値50%)→現状読み取れず

## 連携団体

必要に応じて他機関の紹介・情報共有を行ったり、当市での対応が困難な場合、内閣府や東京都等の相談先を紹介する。

## 今後の課題

2か月という短い期間であり、これ以降相談者が継続して相談することはできなかった。今後も相談窓口の情報提供や複数の相談体制を構築する必要がある。

## ■小平市女性LINE相談

・期間：令和5年7月5日(水)  
～令和5年8月30日(水)

・相談件数：36件